

水産学術産業拠点の整備について

1. 概要

県水産試験場栽培漁業センター、県立大学海洋生物資源学部、(国研)水産研究・教育機構の3機関が集約されている小浜市堅海地区において、新たな増養殖事業者の育成および生産拡大を支援するため、水研機構小浜庁舎の土地と建物を取得・整備し、大規模生産技術の実用化など、産学官連携による増養殖産業拠点の形成を推進する。

2. 共同研究による効果

- 増養殖事業者の技術開発に必要な施設へ改修、企業へ貸出すとともに生産拡大に必要な技術的支援を実施し、事業者の育成、定着および生産拡大を促進する。
- 県立大学の新学科の学生が企業とともに最先端技術を学ぶことにより、起業や就業機会の確保につなげる。

【R4～】サーモンの海水馴致最適化技術開発
サバの大量人工種苗生産技術開発

3. 全体計画

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度～
水産学術産業拠点	・取得協議	・土地建物取得 ・改修工事 → 事業費： 144,793千円	技術開発(サーモン・サバ) → 企業との研究内容に応じ、順次施設を改修	
県立大学新学科	・設計 →	・撤去工事 事業費： 63,711千円	・新学科開設 ・建築工事 (事業費： 約17億円) →	・学生実習開始

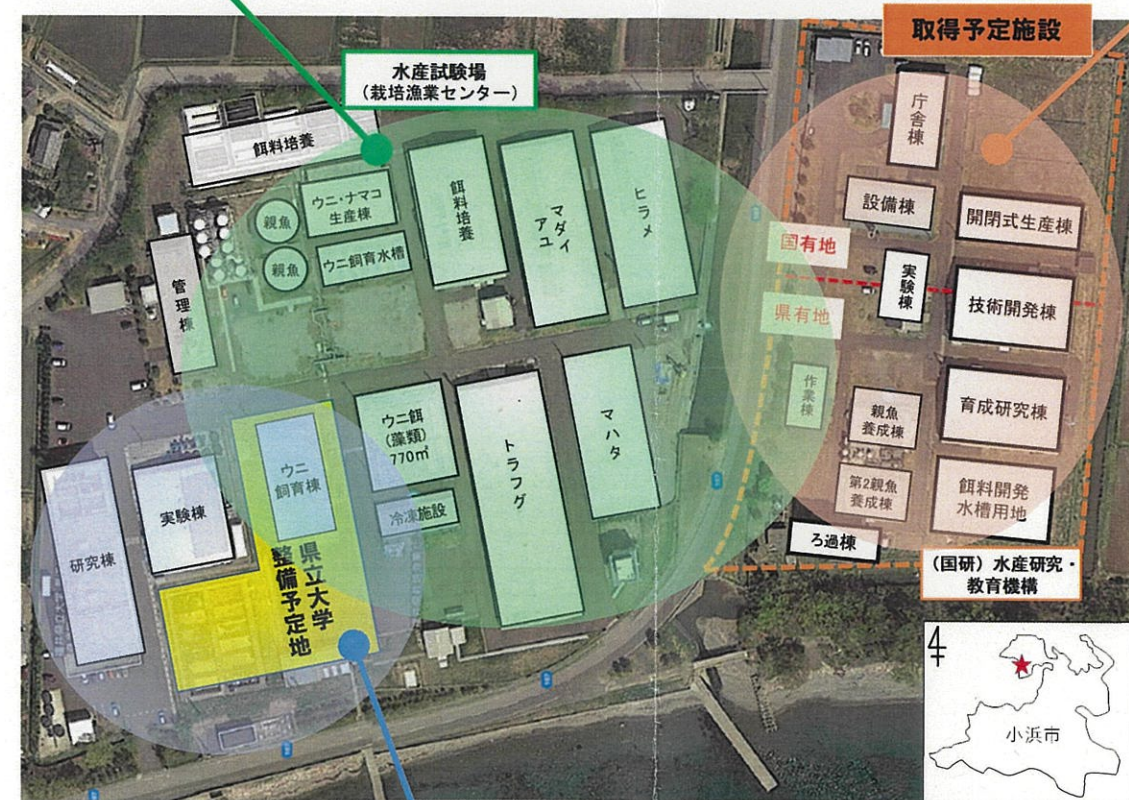
増養殖産業拠点の形成による地域の活性化

研究ゾーン【主体:県水試】

- 基礎技術の開発および種苗供給
- 共同研究による技術提供、支援
- 学生への基礎技術指導

産業支援ゾーン【主体:企業等】

- 企業による大規模生産技術の実用化
- 学生の実習や共同研究、インターンシップ受入
- 漁業者への技術移転や地域課題の解決



人材育成ゾーン【主体:県立大学】

- 学生の教育
- 最先端技術の開発や分析
- 共同研究による技術提供、支援